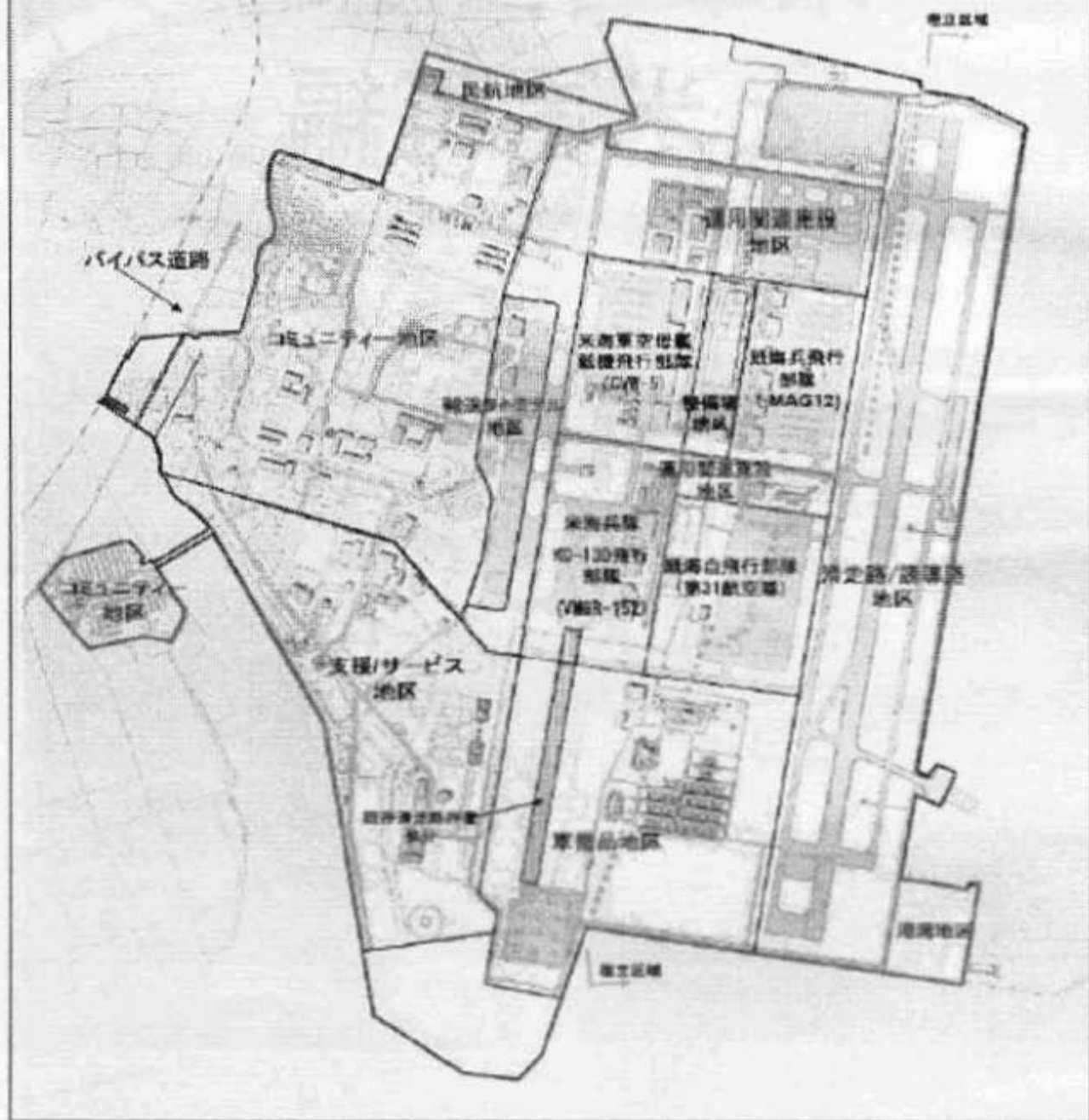


写真で見る 米軍岩国基地 と米軍再編

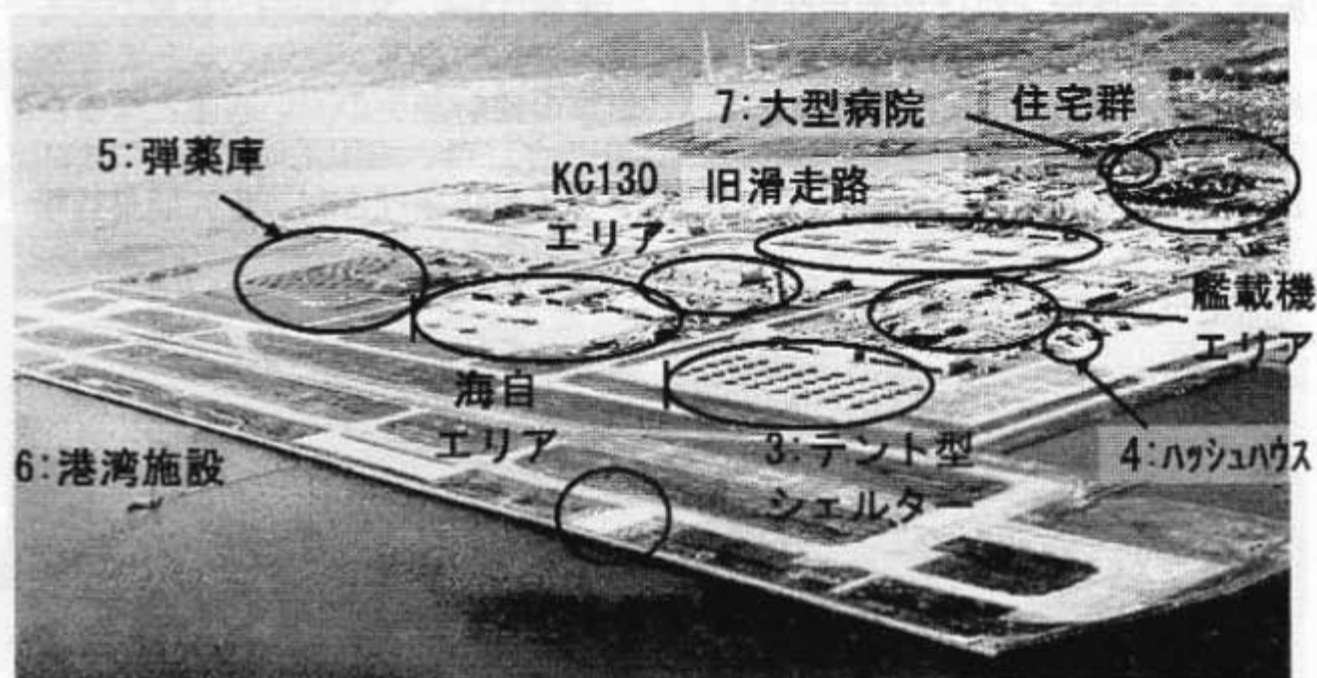


編集：AWC山口
写真：戸村良人さん、一部AWC山口

岩国飛行場の再編後の施設整備の概要
(機能配置図)



1 : 基地全景



3 : 戦闘機用シェルター
 (2014 年 2 月公開)

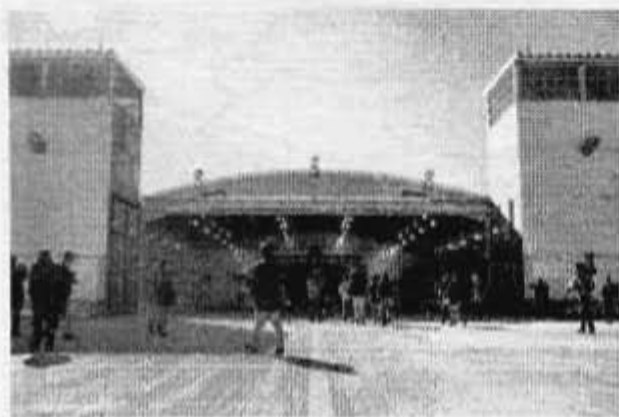


2 : F35 着陸帯



4：ハッシュハウス（エンジン試運転施設／減音施設／2014 年使用開始）

航空機は日中に運用されているため、その維持管理は夜間に行われる。減音効果を高めたことで、夜間の航空機テストを可能にした。



5：弾薬庫



6：港湾施設

水深 13m。大型艦艇が接岸できる国内最大の岸壁が建設されたことで、米軍の使い勝手のよい基地となった。2012 年には、岩国基地の港湾にオスプレイが陸揚げされ、普天間飛行場へと配備された



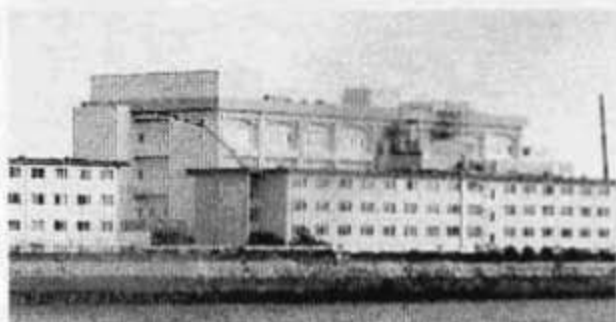
空中給油のデモンストレーション

2014 年、普天間飛行場から空中給油機 KC130 部隊（15 機）が移駐。2016 年 5 月 5 日のフレンドシップデーでは、KC-130J 空中給油機 スーパーハーキュリーズ 1 機と F/A-18D ホーネット 戦闘攻撃機 2 機による空中給油のデモンストレーションも行われた。



7：建設中の大型病院

横須賀の米海軍病院よりも大きいと言われている。ゼネコンの清水建設が受注（滑走路移設工事などの官製談合事件でも名が挙がった企業）。



コミュニティエリア

野球場などがあったところも全て潰して、住宅、学校、スーパー、娯楽施設などが整備されている。現在は、艦載機部隊用の施設が急ピッチで建設中。いたるところで新築の建物、工事中の建物がある。基地内の写真は全て、5月5日に撮影。

正門からすぐのところにあるホテルのような大きな新築の建物。独身者用の住宅か？



家族住宅

一軒一軒は大きめだが、間隔も狭く、ぎっしり密集して建てられている。

見渡す限り同じ建物という印象を受ける程、林立していた。愛宕山の米軍住宅エリアを狭くした影響か？



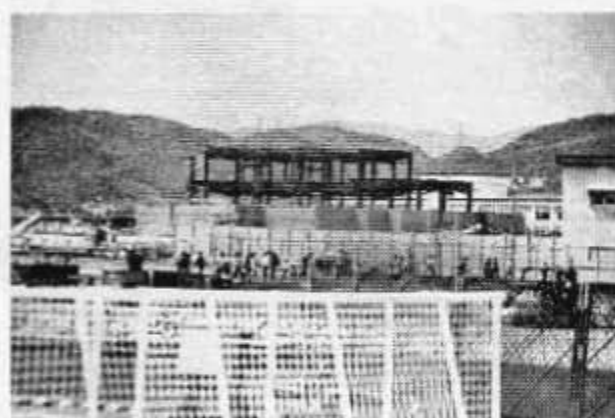
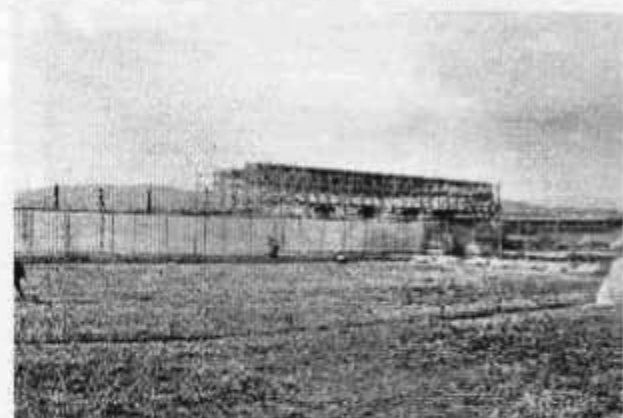
建設中の高校



建設中のショッピングセンター



他にも、あちこちに工事中の建物。



錦帯橋空港の近くでも新築工事。



現在使用中の建物

高官用の庭付きの広い家



放射状の家族住宅



独身者用住宅



ショッピングモール



銀行



郵便局



幼稚園？



学校



道も広い！ 建物も大きい！



基地内の通信施設



通路にあった建物。日陰で休んでいる人も見受けられたが、よく見ると、ガスマスクのマークと注意を促す表示がある。

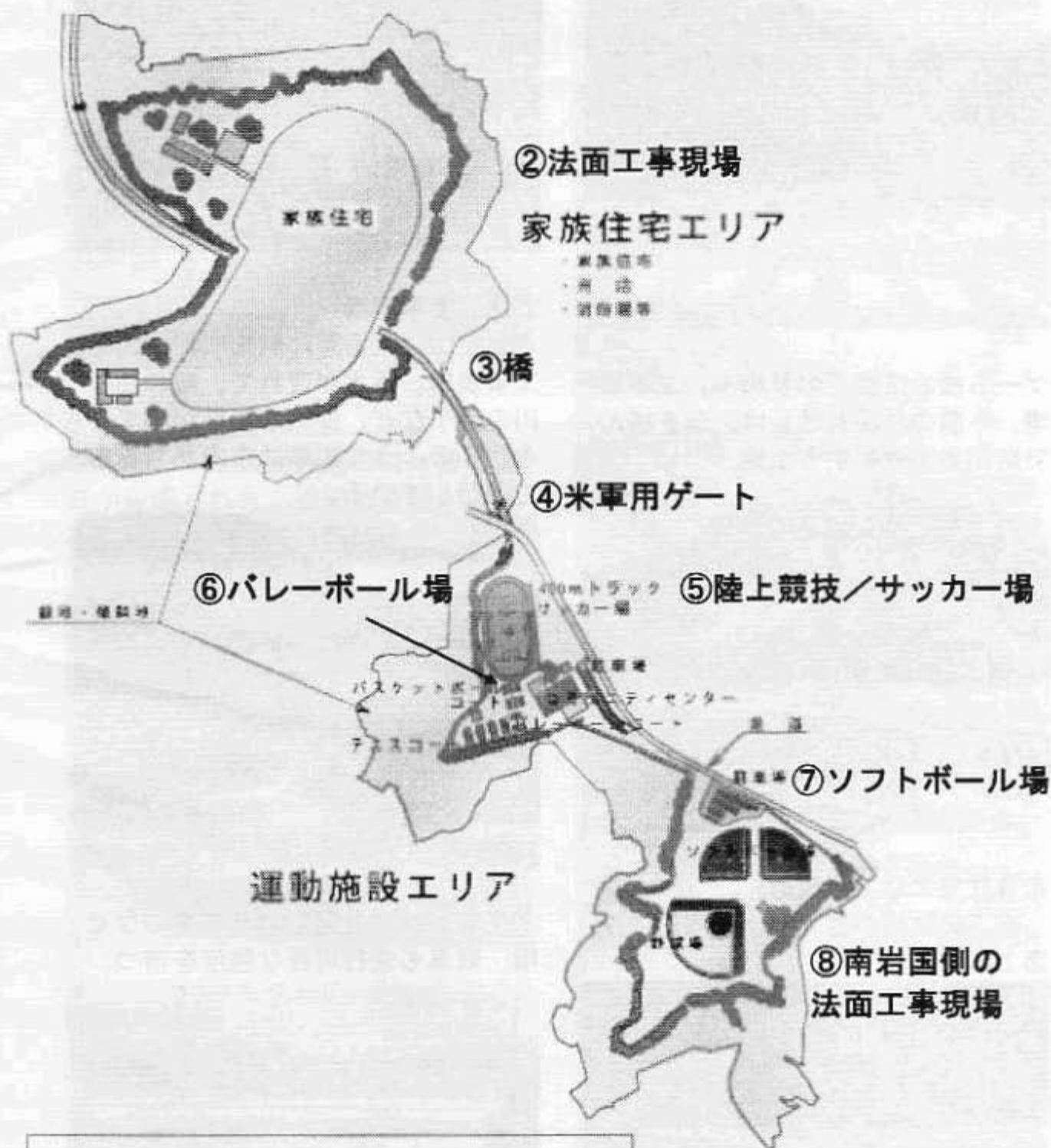


格納庫



愛宕山編

①住宅エリアゲート



愛宕山用地施設概要図

注： 詳細については、今後、日米間で調整

①住宅エリアゲート
奥には建物も建設されている



ゲート横の法面（のりめん）工事現場。手前の「国有地」は、道を挟んで防衛省が所有する土地。



家族住宅エリア（望遠）

右下の鉄塔の立っている周辺は法面工事現場

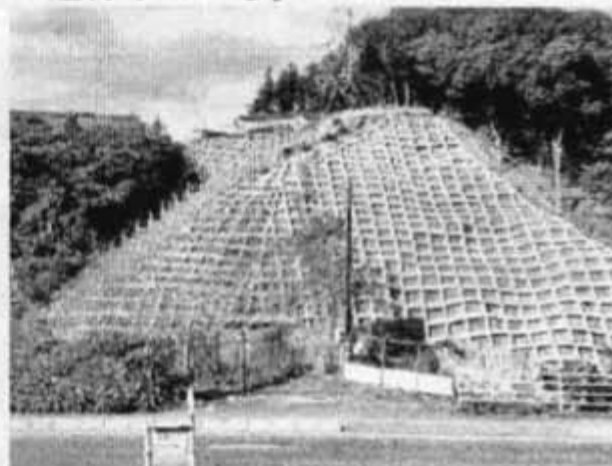


家族住宅エリア

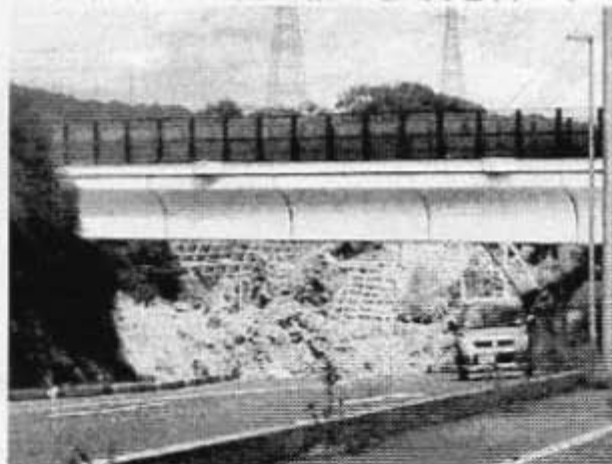


②法面工事現場

愛宕山に上る際に最初に目に入る工事現場。汚水が流れて、蛍の住む川の汚染など、深刻な影響が出ている。このような工事は市内あちこちで進行している。



③住宅エリアと運動エリアをつなぐ橋。戦車も走行可能な強度を持つ。



④米軍用ゲート

橋を渡り、老人ホームの横にあるゲート。最終的には米軍ゲートになる。通勤用道路へつながる。



愛宕山神社後方の法面工事により、老人ホームとの間の道の付け替え道路が造成された。当初は封鎖が告知されたが、市民の抗議により、封鎖はされなかった。



⑤陸上競技／サッカー場



⑥バレーボール場



⑧南岩国側の法面工事現場



⑦ソフトボール場
ナイター用の照明も完備
外側



扇形の球場

